

中村太地 Daichi Nakamura

福岡県北九州市出身、3歳よりヴァイオリンを始める。2017年にブラームス国際コンクールにて日本人初の優勝を飾り、直後に行われたリピツァー国際コンクールでも第3位入賞を果たす。若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール(最年少ファイナリスト)、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど数多くの権威ある国際コンクールにて入賞や特別賞を受賞する。

ブルガリアで行われたシメオノヴァ国際コンクール優勝後には審査委員長 A.スタンコフにその才能を認められ、直後にソフィアフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を共演し、ヨーロッパ・デビューを果たした。

モスクワやウィーンの流派を汲み、これまでにアナスタシア・チェボタリョーフや、渡欧後はウィーン国立音楽大学にてミヒヤエル・フリッシェンシュラガーに師事。

これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア・ジェルノグルシユカなど多数のオーケストラ及び、大友直人、大山平一郎、故佐藤功太郎、渡辺一正、曾我大介、S.スムバチャン、A.スタンコフと共演する他、クフモ室内楽音楽祭（フィンランド）に招かれる等、ヨーロッパと日本を中心に活動中。

2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。2018年より株式会社スターフライヤーと音楽家としては初となるスポンサー契約を結び支援を受けている。

2019年7月、ビクターエンタテインメントよりデビュー・アルバムとしてブラームス全集をリリース。サントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとする大ホールツアーを開催予定。